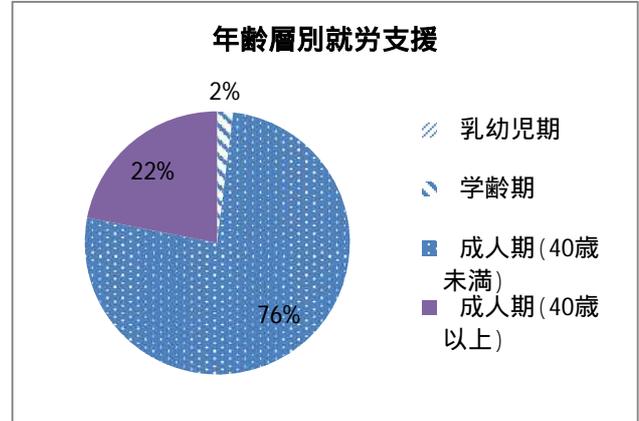
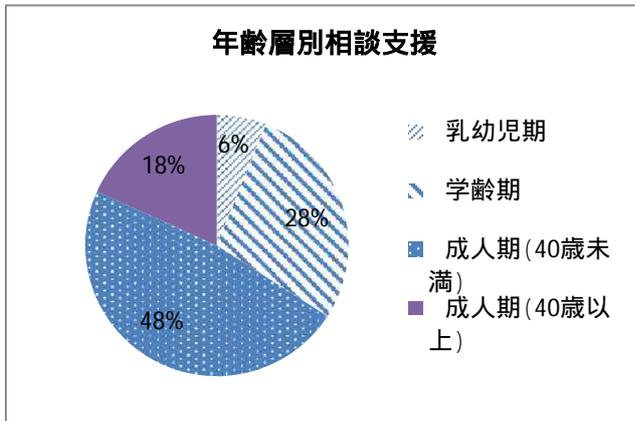


1 個別相談（実支援人数）

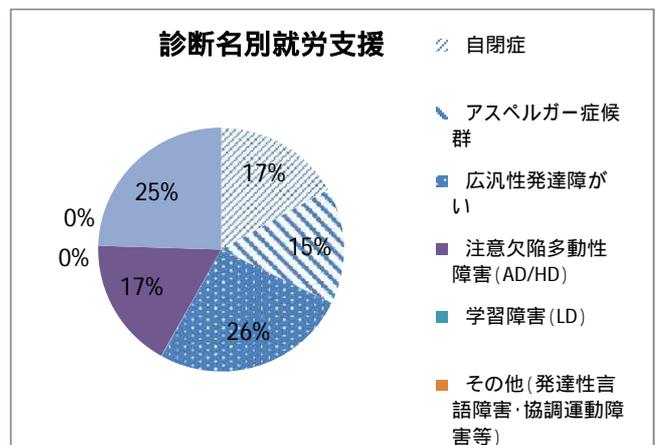
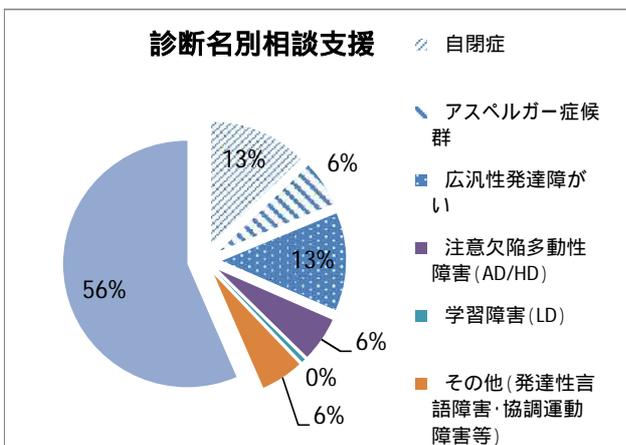
1-1 個別相談：年齢別

	相談・発達	就労	小計
乳幼児期	48		48
学齢期	222	3	225
成人期（40歳未満）	377	118	495
成人期（40歳以上）	144	34	178
計	791	155	946



1-2 個別相談：診断別

	相談・発達	就労	小計
自閉症	101	26	127
アスペルガー症候群	47	24	71
広汎性発達障がい	102	40	142
注意欠陥多動性障害（AD/HD）	46	27	73
学習障害（LD）	4	0	4
その他（発達性言語障害・協調運動障害等）	44	0	44
不明（未診断を含む）	447	38	485
計	791	155	946



2 個別支援：調整会議（のべ件数）

「相談・発達・就労支援」に伴うケース本人も含めた会議

相談・発達	就労	計
102	3	105

3 個別支援：機関コンサルテーション（のべ件数）

「相談・発達・就労支援」に基づく施設への助言、支援者のみの会議

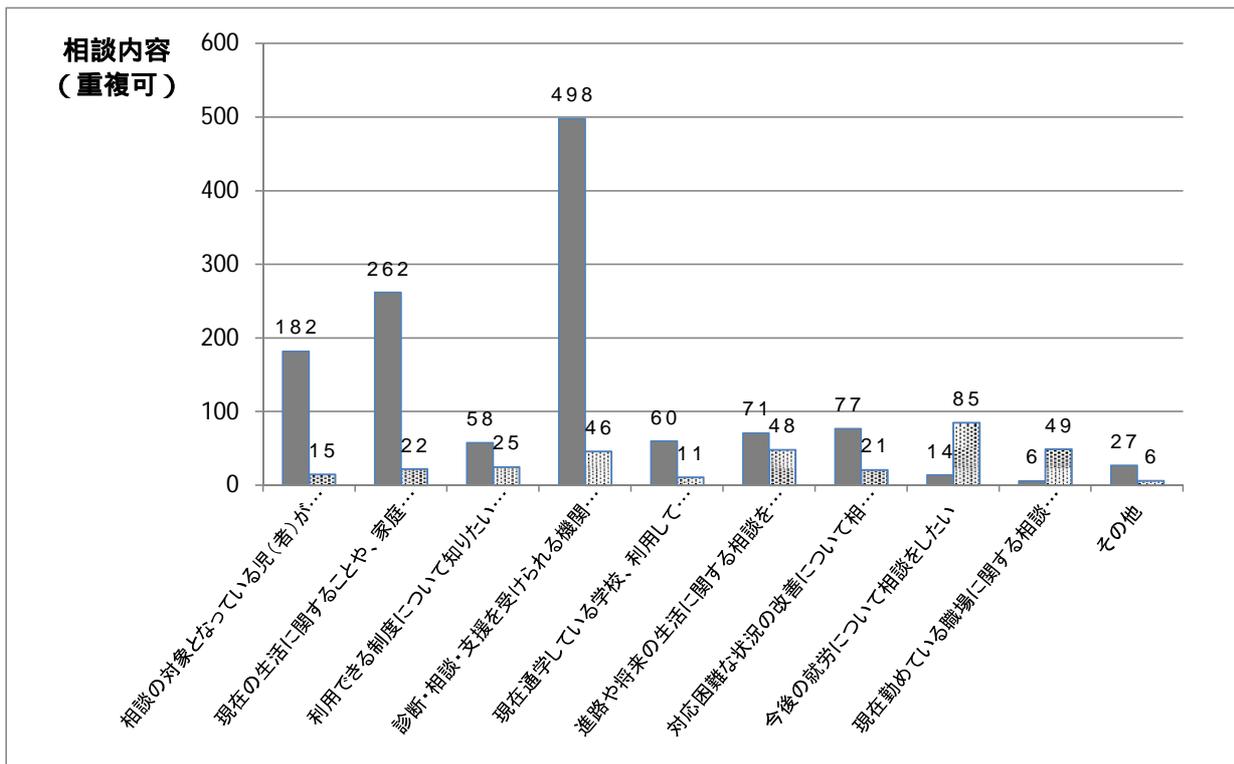
相談・発達	就労	計
54	12	66

平成28年度 発達障がい者支援センター事業実施状況

<資料1-1>

4 個別相談：相談内容（重複選択 のべ件数）

	相談・発達	就労
相談の対象となっている児（者）が発達障害か知りたい	182	15
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	262	22
利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど）	58	25
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	498	46
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	60	11
進路や将来の生活に関する相談をしたい	71	48
対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障害、ひきこもりなど）	77	21
今後の就労について相談をしたい	14	85
現在勤めている職場に関する相談をしたい	6	49
その他	27	6
計	1255	328



5 機関支援

年間 503回実施 事業所等、直接支援機関からの要請による訪問支援
実訪問か所 197か所

6 研修・啓発

参加総数 7935名

実施回数

		実施回数
主催研修会	PT・スキルアップ実践報告会、放課後デイ基礎講座、当事者講演会等	10
主催連続講座	ペアレントトレーニング、ソーシャルスキル、ASD、スキルアップ等	121
共催講座	PT公開講座、子育て支援講座、成人期当事者GW、大学生就職準備支援	24
講師派遣	区主催PT連続講座（16区）、出前研修、啓発研修等	221
計		376

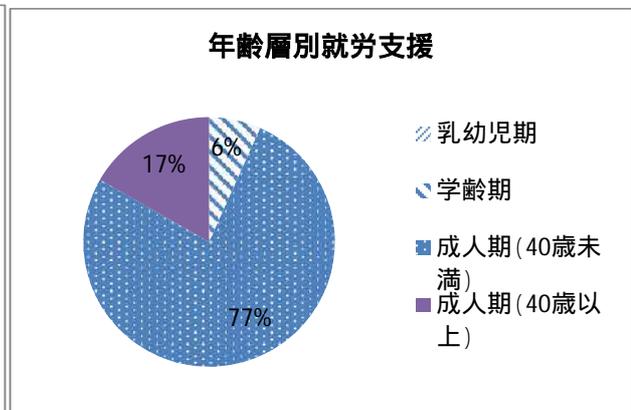
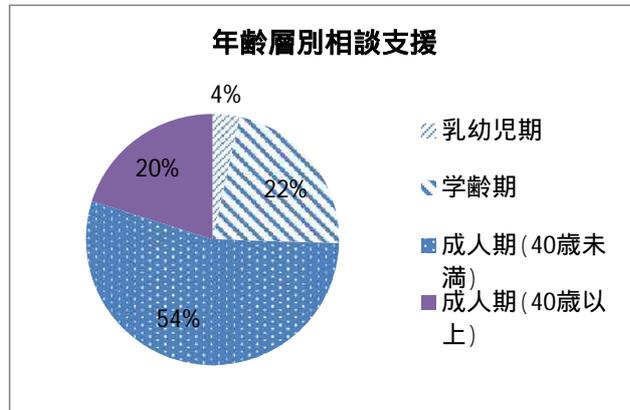
7 発達ノート発行数（冊）

	年間	累計
平成28年4月～平成29年3月	312	1370

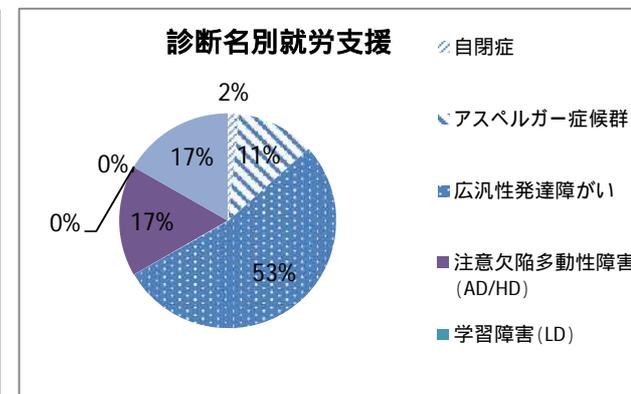
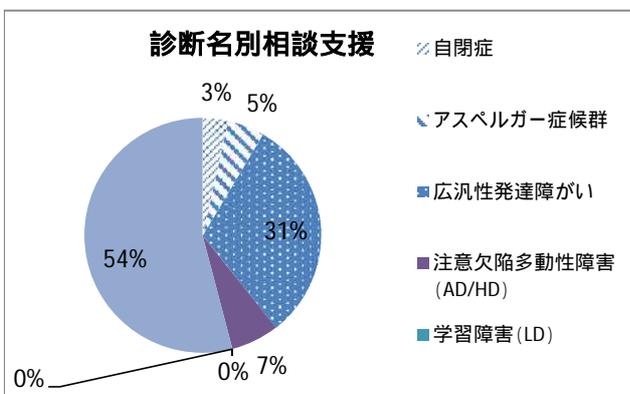
- ・個別支援：相談件数は、相談・就労ともに例年程度。成人期の割合が66%と若干増加した。パートナーや複数の家族についての相談や事業主・会社の上司からの相談も増えつつある。
- ・機関支援：障がい児者施設と私立保育園からの申し込みが多い。施設内での支援方法の共有を目指して基礎研修とコンサルテーションを組み合わせる訪問支援を実施するようにしている。
- ・研修・啓発：昨年通り、多岐に渡る講演会、連続講座を開催。ペアトレは16区に講師派遣した。「こころとからだのワークショップ」...GW可能な対象が少なく3名参加。29年度は支援者も対象に。「発達障がいがある学生の就労準備支援事業」...年間8名の大学生（2,3回生）が参加。

< 相談件数（実支援人数） >

1-1 年齢別	相談・発達	就労	小計
乳幼児期	9		9
学齢期	57	4	61
成人期（40歳未満）	141	46	187
成人期（40歳以上）	52	10	62
合計	259	60	319



1-2 診断別	相談・発達	就労	小計
自閉症	9	1	10
アスペルガー症候群	13	7	20
広汎性発達障がい	80	32	112
注意欠陥多動性障害（AD/HD）	17	10	27
学習障害（LD）	0	0	0
その他（発達性言語障害・協調運動障害等）	0	0	0
不明（未診断を含む）	140	10	150
合計	259	60	319



2 個別支援：調整会議（のべ件数）

「相談・発達・就労支援」に伴うケース本人も含めた会議

相談・発達	就労	計
19	14	33

3 個別支援：機関コンサルテーション（のべ件数）

「相談・発達・就労支援」に基づく施設への助言、支援者のみの会議

相談・発達	就労	計
6	5	11

平成29年度4～6月 発達障がい者支援センター事業実施状況

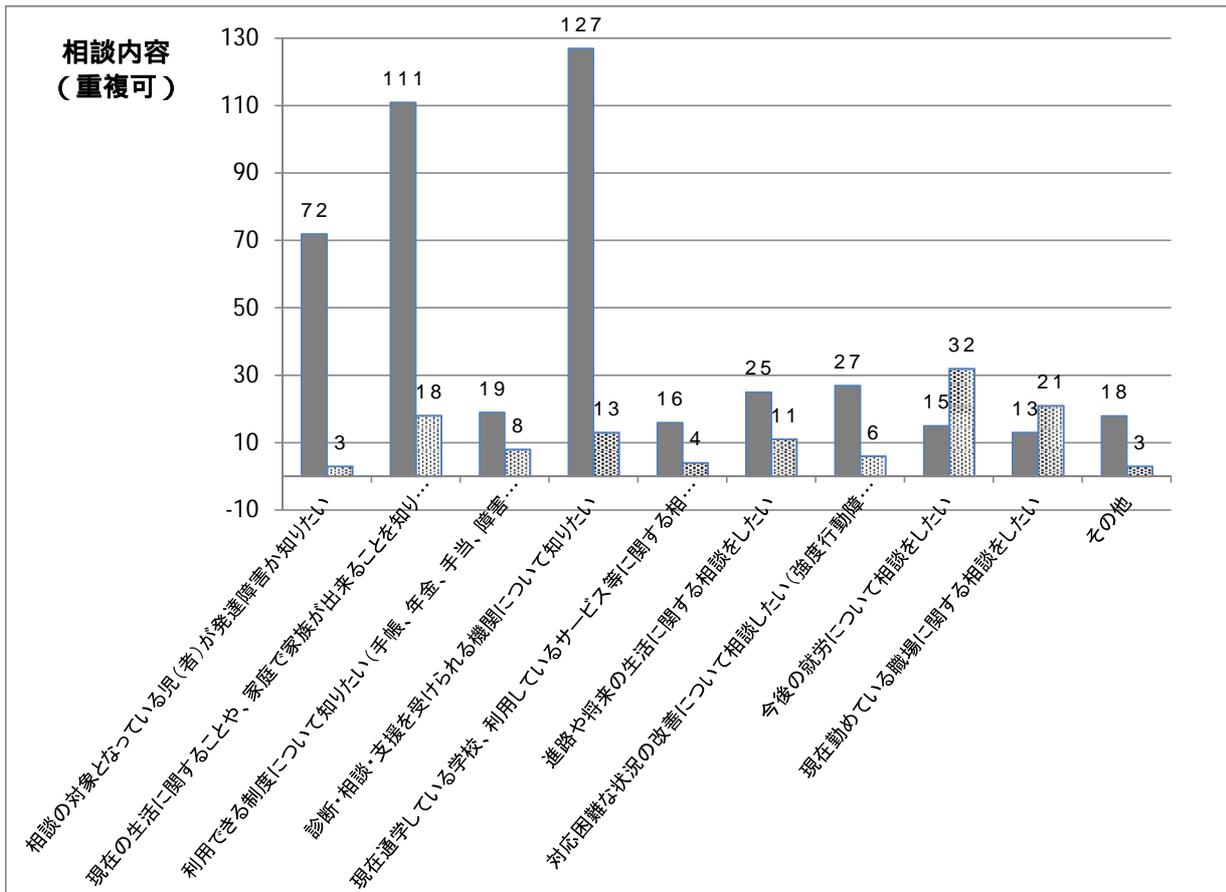
<資料1-1>

4 相談内容（重複選択可）

相談・発達

就労

相談の対象となっている児（者）が発達障害か知りたい	72	3
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	111	18
利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど）	19	8
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	127	13
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	16	4
進路や将来の生活に関する相談をしたい	25	11
対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障害、ひきこもりなど）	27	6
今後の就労について相談をしたい	15	32
現在勤めている職場に関する相談をしたい	13	21
その他	18	3
合計	443	119



5 機関支援

131回実施（平成29年4月～6月）

実訪問か所

109か所

6 研修・啓発

参加総数 1297名

実施回数

研修・啓発	実施内容	実施回数
主催研修会	PT公開講座・放課後デイ基礎講座、成人期基礎講座、LD講座	5
主催連続講座	ペアレントトレーニング、ASD、スキルアップ、からだ講座等	11
共催講座		0
講師派遣	区主催PT連続講座（17区）、出前研修、啓発研修等	50
計		66

7 発達ノート発行数

平成29年4月～平成29年6月（9冊）	累計	1379
---------------------	----	------

<調整会議>

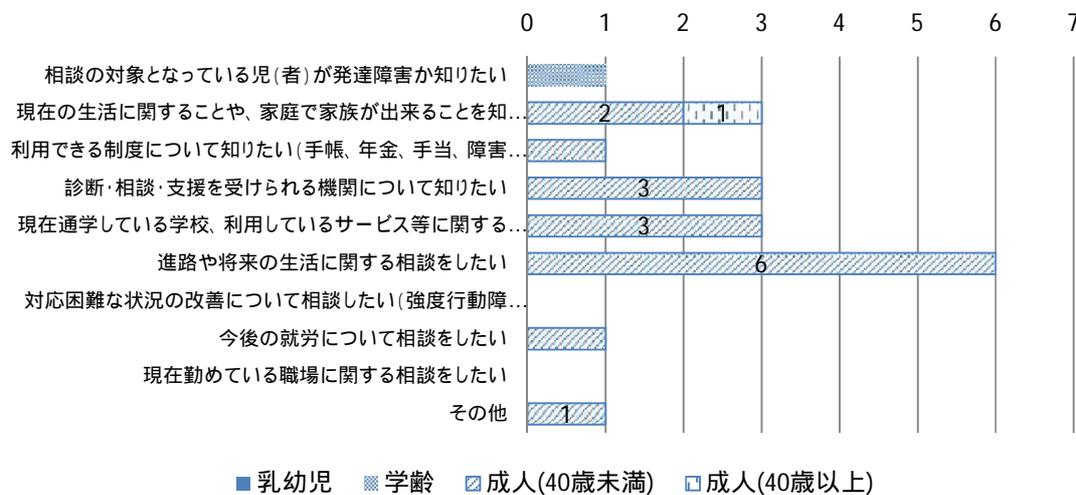
「相談・発達・就労支援」に伴うケース本人も含めた

会議

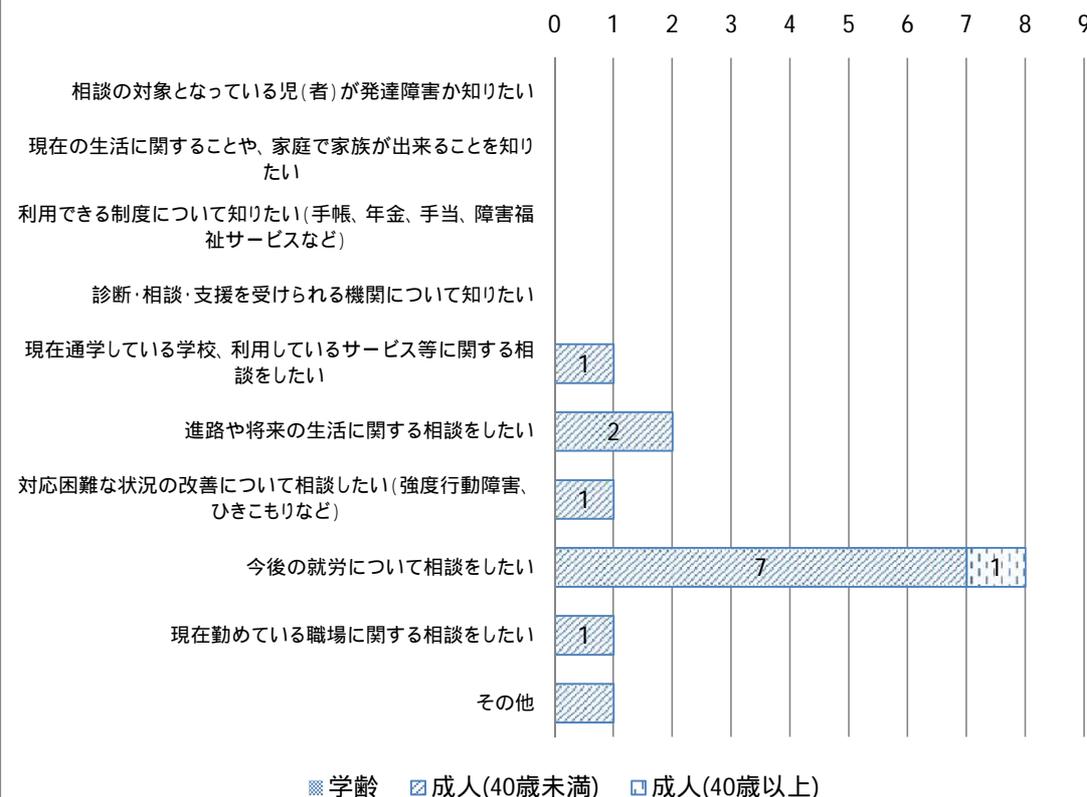
会議内容（相談内容からの再掲）

会議内容（相談内容からの再掲）	相談・発達				就労			
	乳幼児	学齢	成人(40歳未満)	成人(40歳以上)	乳幼児	学齢	成人(40歳未満)	成人(40歳以上)
相談の対象となっている児(者)が発達障害か知りたい		1						
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい			2	1				
利用できる制度について知りたい(手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど)			1					
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい			3					
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい			3				1	
進路や将来の生活に関する相談をしたい			6				2	
対応困難な状況の改善について相談したい(強度行動障害、ひきこもりなど)							1	
今後の就労について相談をしたい			1				7	1
現在勤めている職場に関する相談をしたい							1	
その他			1				1	
合計		1	17	1			13	1

調整会議(相談・発達)



調整会議(就労)



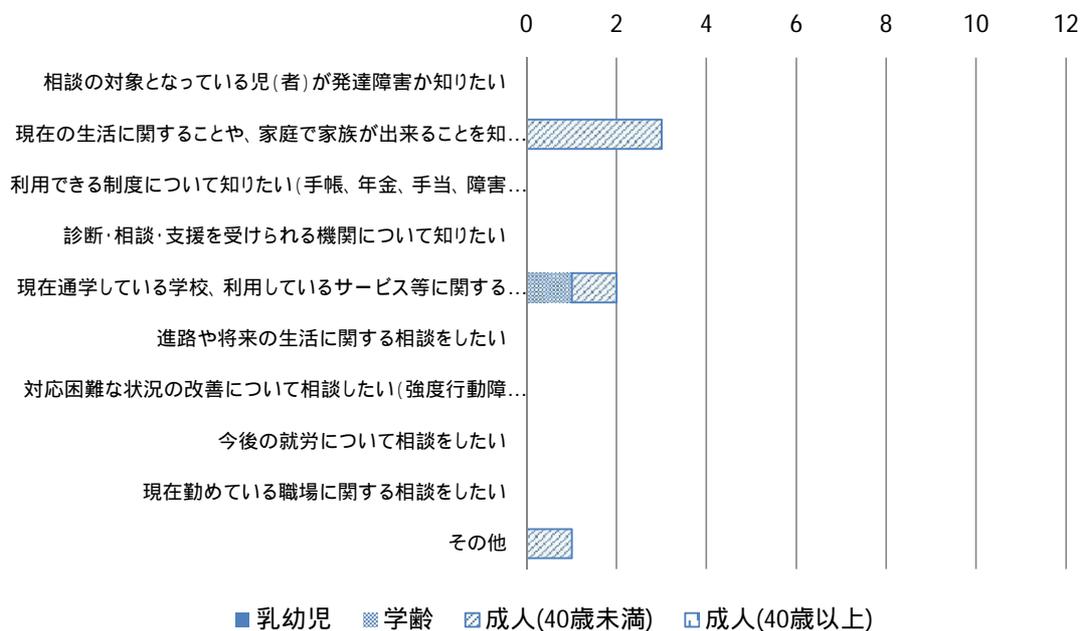
<機関コンサルテーション>

「相談・発達・就労支援」に伴う施設からの依頼に基づき職員等への助言、支援者のみ会議

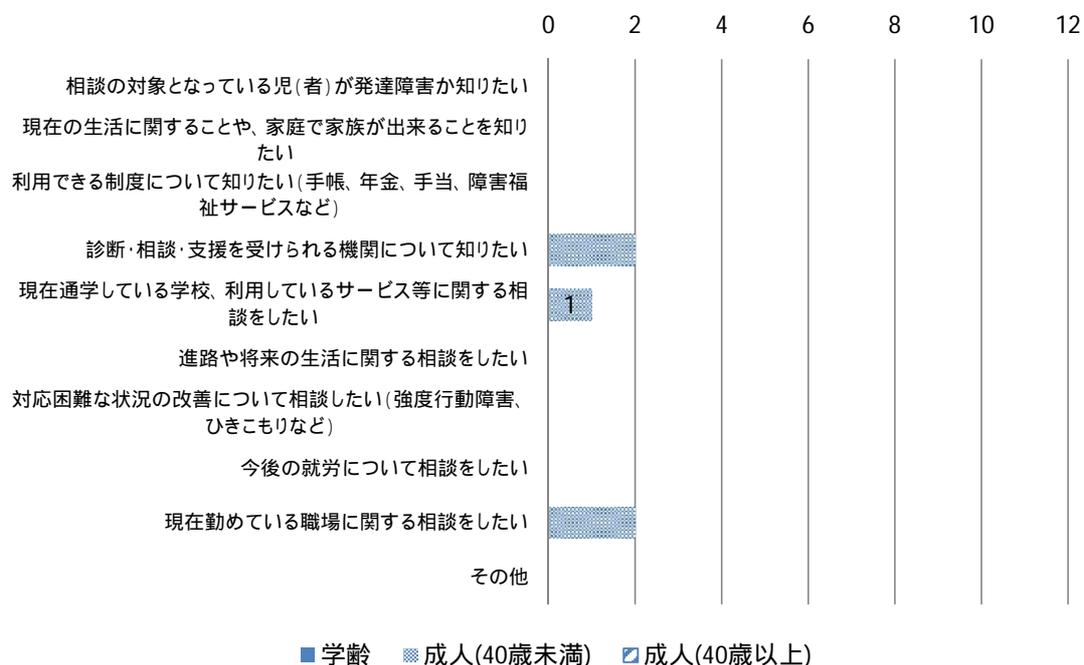
会議内容（相談内容からの再掲）

	相談・発達				就労			
	乳幼児	学齢	成人(40歳未満)	成人(40歳以上)	乳幼児	学齢	成人(40歳未満)	成人(40歳以上)
相談の対象となっている児(者)が発達障害か知りたい								
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい			3					
利用できる制度について知りたい(手帳、年金、手当、障害福祉サービスなど)								
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい							2	
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい		1	1				1	
進路や将来の生活に関する相談をしたい								
対応困難な状況の改善について相談したい(強度行動障害、ひきこもりなど)								
今後の就労について相談をしたい								
現在勤めている職場に関する相談をしたい							2	
その他			1					
合計		1	5				5	

機関コンサルテーション(相談・発達)



機関コンサルテーション(就労)



平成29年度4～6月 発達障がい者支援センター事業実施状況

<資料1-1>

<地域住民向け講演会、主催・共催研修、講師派遣>

主催・共催研修（地域住民向け講演会、支援者向け講座）

ペアレント・トレーニング公開講座	1
ペアレント・トレーニング事前レクチャー	11
ペアレント・トレーニング（幼児期）	8
ペアレント・トレーニング（学齢期）	8
ペアレント・トレーニング実践報告会	
ペアレント・トレーニングフォローアップ	4
ソーシャルスキル講座（幼児期）	
ソーシャルスキル講座（学齢期）	
A S D 講座	2
からだ講座	1
心理的疑似体験	
読み書き・計算	
ADHDスポット講座	
中高生ライフスキル講座	
成人期ライフスキル講座	
成人期支援者スキルアップ事業基礎講座	1
成人期支援者スキルアップ事業報告会	
ペアレント・プログラム支援者研修	
児童発達支援管理責任者・放課後等デイサービス向け基礎講座	1
市（福祉局・市民局など）	
各区保健福祉センター	
各区主催ペアレント・トレーニング	28
各区地域自立支援協議会	
社会福祉協議会	
教育関係	
保育園・幼稚園	4
児童福祉施設	
障害児支援機関	7
成人期支援機関	8
相談支援機関	
居宅介護事業所	
他福祉サービス（高齢者支援機関等）	
労働関係（ジョブコーチ研修講師含む）	
企業	
その他（親の会、事業所連絡会等）	3

50

発達ノート発行数

29年4～6月	9	累計	1365
---------	---	----	------

「こころとからだのワークショップ」実施報告

【平成28年度】

1. 目的

発達障がいがある成人期の方たちが小グループで感情やそのコントロール方法、感情とからだのつながり等についてともに学び、からだを動かすことによるリラックス効果や楽しさを体験する、また、自分の得意・不得意について話し合う機会を設定することにより、就労するために大切な「健康維持」や「感情のコントロール」「自己理解」への気づきと日常での工夫実施のきっかけとすることを旨とする。

2. 参加者

平成28年度、発達障がい者就労支援コーディネータおよび大阪市発達障がい者支援センターに就労を目的に相談来所され、まだ就労支援機関の利用に至っていない、成人期の発達障がいの当事者3名（在宅、男性3名、20歳、21歳、30歳；平均年齢23.7歳）。もう1名はバイトが決まったため参加されなかった。今年度はグループワークに参加できそうな対象の方が少なかったため、3名での実施となった。

3. 実施頻度・場所

- ・実施頻度 ... 10/31～3/13 連続6回（1/M）実施
- ・実施場所 ... 長居障がい者スポーツセンター

4. 方法・内容

- 方法 ... グループワーク（GW）+ からだを動かす体験
- ・GW：ワークシート活用による学習、話し合い
 - ・からだを動かす体験：深呼吸+ストレッチ、軽スポーツ（Fホッケー、ポッチャなど）

GW 内容...

- 1回目 自己紹介、感情学習（よろこび・リラックス）
きっかけカード・楽しいことの本・コーピンググッズの紹介、好きなこと探し
- 2回目 感情学習（うれしい・リラックスした）（どんな時に・からだの状態）
脳内ホルモンの話、感情修復ツール（きっかけカード：好きなものの写真など）の作成・紹介
- 3回目 うれしいこと日記、感情学習（不安・怒り）（どんな時・からだの状態）
感情修復ツールの作成・紹介
- 4回目 うれしいこと日記、きっかけカードを使ってみた感想、不安を減らすのに役立つ活動、
感情修復ツールの作成・紹介
- 5回目 うれしいこと日記、感情修復ツールを使ってみた感想、
感情修復ツール（ツールボックス）の作成、からだを動かす体験
- 6回目 うれしいこと日記、感情修復ツール（ツールボックス）を使ってみた感想、
マイナス プラス変換ワーク

5. 効果検証

アンケート結果（毎回参加者全員に実施）など

参加者2名については、GWとからだを動かす体験の役立ち度・理解度の評価は、4段階評価で3（役に立った・わかりやすかった）または4（とても役に立った・とてもわかりやすかった）であり、からだを動かす体験の評価は両者ともに高かった。残り1名は、ワークショップへの参加は楽しい、次回も参加したい、との感想であるものの、GWについては少しわかりにくい（2）との評価であった。

参加者の感想（抜粋）・経過

- ・久しぶりにからだを動かして良かった。 ・ポッチャがすごく楽しかった。 ・また参加したい。
- ・新たな対処方法を実践していきたい。

自立訓練施設利用中1名、職業訓練校今秋入校予定1名、障がい者雇用に向けて相談中1名

6. 今後の課題

- ・GW参加対象者の確保（募集方法） ・GWの普及～実施希望がある支援者の参加・研修も考えていく

【平成29年度（予定）】

28年度と同様の手法により実施すると共に、GWの普及をめざし支援者の参加や研修の場を設定する予定。

発達障がいがある学生等の就労準備支援事業 実施報告

【平成28年度】

1. 目的

大学や専門学校を卒業後、社会との繋がりが持てないまま無業状態に陥り相談来所する成人期の方の中には、アルバイトなどの就業経験がなく、卒業後の進路としての就業のイメージが持てず就職活動がうまくいかなかった事例が多い。学生支援室や進路指導担当部との連携のもと、発達障がいがある学生が在学中に発達障がいの特性をふまえた講座や企業での実習体験を含む就労準備支援プログラムに参加することにより、就業イメージを持つこと、就労意欲を向上させること、各自に合った職業の選択を考えるきっかけとすることとし、困った時の対応や工夫を知り就労に向けた課題整理をおこなうきっかけとなることをめざす。また、学生支援者が発達障がいへの正しい理解と適切な対応への工夫を知り、障がい特性に配慮しながら進路指導等をおこなうための一助となるよう、また、結果として卒業後の無業状態を回避することを目指す。

2. 対象者

連携する大学等（大阪市立大学、他）に在学中の発達障がいがある学生、学生支援者

3. 実施期間・場所

- ・実施期間... 7月～2月（ガイダンス、自己理解等講座、企業見学・実習等）
- ・実施場所... 連携就労移行支援事業所（サテライトオフィス平野）、協力企業（仕事体験、企業実習）

4. 事業内容・実施経過・参加状況

< 発達障がいがある学生等 >

ガイダンス + 先輩の体験談：「就労について語ろう会」7月、8月、12月実施

学生8名（2回生×1、3回生×5、4回生×1、新卒×1）+ 支援者（就職課）1名参加

講座受講：「自己理解講座」「社会人マナー講座」「SST」など 学生2名参加

「企業見学」 ・ 特例子会社×1社 学生2名 + 支援者（就職担当）1名参加

・ 一般企業（障がい者雇用） 希望者・企業の調整ができず未実施

「企業実習」 希望者なし

ふりかえり：「就労に向けた課題整理」 個別に実施

< 学生支援者等 >

- ・ 連携先大学教職員～大阪市立大学：学内の学生支援連携に向けて協力（学内職員対象講演会）
その他私立大学：社会資源（就労支援・相談機関等）や研修・講演会の情報提供
- ・ 専修学校等への出前講座「発達障がいの理解と支援」「社会資源の活用」等 Coが実施

5. 事業実施までの調整等

6月～7月 連携先大学等への事業協力依頼（数か所の大学へ依頼予定） 実施協議

連携先大学の学生支援担当職員・教員等への講座

【発達障がい基礎講座、体験談、社会資源（就労支援・相談機関等）】

連携先大学学生支援室による学内アナウンス、学内での対象者選定・紹介

仕事体験・企業実習受入れ先企業等の開拓

6. 学生参加者について

紹介内訳：大学からの紹介3名、エルム個別相談ケース5名

参加者の経過（抜粋）

- ・ 事例1：「語ろう会」参加 講座受講 企業見学 12月「語ろう会」参加 学内支援者と就職の方向性を検討 障がい者雇用を目指すことに *学生支援室からの紹介、3回生
- ・ 事例2：「語ろう会」参加 問題点を整理 職業訓練校（秋季：発達障がい）受験・入校 *新卒
- ・ 事例3：「語ろう会」参加後、休学・在宅 ころとからだのWSに参加 退学 *2回生
- ・ 事例4：「語ろう会」参加後も一般職志望 4回生になり障がい者雇用も視野に就活中 *3回生

7. 今後の課題

学生：大学生活とのスケジュール調整なども含めた環境のもとで自己理解を深める仕組みが必要。

大学：「個別事例を通して」と、「組織的に」発達障がいの理解を促す、両方のアプローチが必要。

【平成29年度予定】

「語ろう会」 講座受講（自己理解） 企業見学 課題整理の全過程に参加可能となるよう、実施スケジュールや講座回数を見直すほか、学生支援者向け発達障がい理解を促す取組みを検討していく。